湯沢ＣＳ通信

令和８年７月10日　第95号
（発行）湯沢市教育委員会
学校教育課　ＣＳ担当

各校のＣＳの取組について

六月の下旬から、各校では第二回学校運営協議会が開催されています。協議会の記録からは「地域とともにある学校づくり」のために熱心に話し合っていただいていることが伺えます。

さて、今年度も各校で初めて実施するＣＳの取組、校長先生が特に力を入れて実施したいＣＳの取組について紹介します。校長先生のＣＳへの意気込みを感じることができます。

湯沢東小学校

黒澤　進　校長先生

児童・教職員・家庭・地域を繋ぐ三部会を中心に、まなび部会では雪国体験、ふれあい部会では防災教育、すこやか部会ではふるさと教育の視点を軸にして、協働で事業を具体化し、「地域とともにあゆむ学校」を目指します。

湯沢西小学校

井上　英樹　校長先生

今年度の本校の学校運営協議会は、「地域とともにある学校づくり」として、３つの部会（安全・安心の部会、つながり・交流の部会、学びの部会）を重点として活動していきます。これまで以上に、学校・家庭・地域が一体感をもって進めていきたいと考えています。また、クラブ活動へ地域人材を活用することで、児童が地域への愛着をさらに深められるように、今年度はＣＳの活動として人材確保等を行います。

山田小学校

佐々木　湯津子　校長先生

「山田ブランド」を引き継ぎ、味噌作りや今年度初の収穫祭の実施、そして学校運営協議会や各団体の熱い協力のもと、地域の方々と各種交流の場を設けます。「山田で唯一の学校」として、地域との結び付きをさらに強めます。

稲川小学校

松野　誠子　校長先生

今年度、新たな取組として「I-NA（い－な）ガーデン～『わ』が広がる学びの庭～」を整備しました。「I-NA」には「いいな」と感じられる学校や地域、「わ」には、人と自然とのつながり（輪）、自然の循環（環）、地域と児童が語り合う（話・和）という願いを込めています。地域の皆様と児童が花や野菜を育て、語り合い、学び合う活動を通して、ふるさとへの愛着や地域とのつながりを育んでいきます。

昨年、地域の方と稲川音頭で交流

雄勝小学校

渡邉　博久　校長先生

今年度は「雄勝っ子プロジェクト」で、秋の宮山荘と一緒に活動します。子どもたちの自由な発想で様々な活動を計画しています。また、地域内の複数施設の協力で、雄勝に元気を届ける雄勝小の活動写真を展示中です。

皆瀬小学校

小坂　浩一　校長先生

本校は、今年創立二十周年を迎えます。十一月に記念事業を実施する予定です。現在は学校運営協議会の委員を中心に実行委員会を組織し、計画を進めています。児童だけでなく地域の方々にも参加いただき、思い出に残る事業を創り上げたいと思います。

湯沢北中学校

村田　留美子　校長先生

地域とともにある学校づくりを進め、子どもの地域愛と主体性を育むため、今年度は3年生全員と地域住民が未来を語る「熟議」を開催します。特に、「自分の夢」を起点に、２０４０年のふるさとへどう貢献できるかを考えさせたいと思います。

湯沢南中学校

高橋　清隆　校長先生

生徒たちは「大好き湯沢プロジェクト」を積み重ねてきたことにより、地域の方と意見交流をすること、幅広い視野を身に付けること、自分事として湯沢の未来を考えること、自分の知識や知恵を充実させるために勉学に励むこと等の考えにたどり着きました。

稲川中学校

山田　わかば　校長先生

学校運営協議会委員、生徒、保護者、教職員による熟議を行います。「『よさ』は強みになり得るのか」をテーマに生徒や学校、そして、地域のよさを磨くために、学校教育目標の実現に向けて取組や手立てを議論します。

雄勝中学校

池田　隆　校長先生

今年度は新たな委員も迎えながら、引き続き3プロジェクトで活動を進めます。特に発信プロジェクトでは、3年生が道の駅おがちと行う「活性化選手権」に向け指導や助言をしていただきブラッシュアップを狙います。

皆瀬中学校

北林　悟　校長先生

皆瀬地域の笑顔のために

今年度は、大きく三つのことに取り組みます。①皆瀬カエデ祭り、②小中合同防災教室、③令和9年度皆瀬中学校五十周年記念イベントに向けた計画です。皆瀬地域づくり協議会や皆瀬小と連携し、地域に元気を届けます。

昨年の生徒と委員による意見交流会